

# 日本古代通史

河村哲夫

## 河村哲夫(かわむら・てつお)

福岡県柳川市生まれ

九州大学法学部卒

歴史作家

福岡県文化団体連合会顧問

ふくおかアジア文化塾代表

立花壱岐研究会会員

元『季刊邪馬台国』編纂委員長

西日本新聞 TNC 文化サークル講師・朝日カルチャーセンター講師

大野城市山城塾講師



### 〈おもな著作〉

『志は、天下～柳川藩最後の家老・立花壱岐～(全5巻)』(1995年海鳥社)

「小楠と立花壱岐」(1998年『横井小楠のすべて』(新人物往来社)

『立花宗茂』(1999年、西日本新聞社)

『柳川城炎上～立花壱岐・もうひとつの維新史～』(1999年角川書店)

『西日本古代紀行～神功皇后風土記～』(2001年西日本新聞社)

『筑後争乱記～蒲池一族の興亡～』(2003年海鳥社)

『九州を制覇した大王～景行天皇巡幸記～』(2006年海鳥社)

『天を翔けた男～西海の豪商・石本平兵衛～』(2007年11月梓書院)

「北部九州における神功皇后伝承」(2008年、『季刊邪馬台国』97号、98号)

「九州における景行天皇伝承」(2008年、『季刊邪馬台国』99号)

「『季刊邪馬台国』100号への軌跡」(2008年、『季刊邪馬台国』100号)

「小楠と立花壱岐」(2009年11月、『別冊環・横井小楠』藤原書店)

『龍王の海～国姓爺・鄭成功～』(2010年3月海鳥社)

「小楠の後継者、立花壱岐」(2011年1月、『環』藤原書店)

『天草の豪商石本平兵衛』(2012年8月藤原書店)

『神功皇后の謎を解く～伝承地探訪録～』(2013年12月原書房)

『景行天皇と日本武尊～列島を制覇した大王～』(2014年6月原書房)

『法頭の旅・ブッダへの道』(2012～2016年『季刊邪馬台国』114号～124号に連載)

『日本古代通史』(2020年12月から季刊「古代史ネット」で連載中)

(テレビ・ラジオ出演)

平成31年1月NHK「日本人のおなまえっ! 金栗の由来・ルーツ」

平成28年よりRKBラジオ「古代の福岡を歩く」レギュラー出演中

令和6年4月よりYouTube番組「河村哲夫の古代史チャンネル」に出演中

季刊「古代史ネット」	日本古代通史・連載回数	テーマ
創刊号(2020年12月)	第1回【プロローグ】	【Ⅰ】卑弥呼の鏡 【Ⅱ】天照大神の鏡
第2号(2021年3月)	第2回【奴国の時代①】	【Ⅰ】邪馬台国前史としての奴国 【Ⅱ】高天原の神々
第3号(2021年6月)	第3回【奴国の時代②】	朝鮮半島南部の倭人の痕跡
	第4回【奴国の時代③】	北部九州のクニグニ
第4号(2021年9月)	第5回【奴国の時代④】	奴国の神々
第5号(2021年12月)	第6回【邪馬台国の時代①】	卑弥呼の登場
第6号(2022年3月)	第7回【邪馬台国の時代②】	卑弥呼の外交①
第7号(2022年6月)	第8回【邪馬台国の時代③】	卑弥呼の外交②
第8号(2022年9月)	第9回【邪馬台国の時代④】	邪馬台国への道・三韓諸国
	第10回【邪馬台国の時代⑤】	邪馬台国への道・対馬と壱岐
第9号(2022年12月)	第11回【邪馬台国の時代⑥】	未盧国と西海の島々
	第12回【邪馬台国の時代⑦】	未盧国から伊都国へ
第10号(2023年3月)	第13回【邪馬台国の時代⑧】	伊都国から奴国へ
第11号(2023年6月)	第14回【邪馬台国の時代⑨】	奴国から不弥国へ
	第15回【邪馬台国の時代⑩】	夜須をゆく
	第16回【邪馬台国の時代⑪】	朝倉をゆく
第12号(2023年9月)	第17回【邪馬台国の時代⑫】	日田をゆく
	第18回【邪馬台国の時代⑬】	投馬国は豊の国
	第19回【邪馬台国の時代⑭】	狗奴国は肥の国
第13号(2023年12月)	第20回【邪馬台国の時代⑮】	狗奴国と卑弥呼の死
	第21回【邪馬台国の時代⑯】	卑弥呼と台与
第14号(2024年3月)	第22回【後期・邪馬台国の時代①】	英彦山と京都平野
	第23回【後期・邪馬台国の時代②】	神夏磯媛と豊比売命
	第24回【後期・邪馬台国の時代③】	英彦山と宗像
	第25回【後期・邪馬台国の時代④】	ニギハヤヒ
第15号(2024年6月)	第26回【後期・邪馬台国の時代⑤】	スサノオと五十猛命
	第27回【後期・邪馬台国の時代⑥】	出雲の神々
	第28回【後期・邪馬台国の時代⑦】	スサノオとクシナダヒメ
第16号(2024年9月)	第29回【後期・邪馬台国の時代⑧】	隠岐の島
	第30回【後期・邪馬台国の時代⑨】	大国主命
	第31回【後期・邪馬台国の時代⑩】	大国主命の国づくり